

南紀エリア『広域連携スポーツ合宿誘致』プロジェクト

国体開催に合わせて新設された田辺市のスポーツパークと既の実績を上げつつある上富田スポーツセンターを中心に多くのスポーツ施設が集積する南紀エリアは温暖な気候や自然に恵まれ、京阪神から近距離に位置するなど好条件を備えているため、5市町連携のもとスポーツ合宿の誘致に取り組み、地域の活性化を図る。

1 現状

(1) 地理的な優位性

高速道路の南伸による京阪神等の県外からの交通アクセス向上による優位性

(2) 時期的な優位性

国体の開催に伴い施設整備が南紀エリアに集中する時期的な優位性

2 課題

(1) 各市町単独による合宿誘致の限界

施設の収容能力や合宿できる競技種目が制限される

(2) 起爆剤としての国体

国体を起爆剤として施設の一層の利用促進を図らねばならない

(3) 年間で切れ目のない施設活用

オフシーズンや平日の利用促進を図らねばならない

3 方向

南紀エリアとして広域(田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町)で連携して取り組むことによるメリットを活かし誘客増につなげる



4 取組の3本柱(H26~H28)

(1) 基礎的な力の強化
(受け入れ体制の強化)

4,471千円

① HPの作成

- 各市町のスポーツ施設の1年先までの空き情報をウェブ上で発信
- 各市町の宿泊施設、イベント情報、観光情報等、広域のメリットを生かした情報発信

② パンフレットの作成

- スポーツ施設、宿泊施設を掲載
- エリアで取り組む支援策を掲載
- HPへの誘導を行うQRコードを掲載

③ スポーツツーリズムの専門家等による研修会の実施

- 宿泊施設及びスポーツ施設管理者に対し、受入体制の充実を図るための研修会を実施

【中核事業体】

南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会
(田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町、県)
田辺周辺広域市町村圏組合

(2) 有効な誘致活動
(ターゲットをしぼったプロモーション等)

6,679千円

① 効果的なプロモーションの実施

- 協議会メンバーと専門家によるターゲットをしぼった旅行会社やスポーツ団体・大学等への誘致活動

② 現地プロモーションの実施

- 旅行会社やスポーツ団体・大学等のキーマンを招いて施設の案内及び説明会を実施

③ オフシーズン(1月、6月、10月)や平日に合宿を行った団体に対して施設使用料の一部を支援

【全体事業費】

12,570千円
宿泊施設広告費 380千円
田辺周辺広域市町村圏組合 8,000千円
わがまち元気プロジェクト支援事業 4,190千円

(3) 誘致後の交流促進
(地域交流・地域振興)

1,420千円

① 地域交流促進に資する活動への支援

- 地域の子どもの対象とした各種スポーツ教室の開催

② プラス1泊・リピーター獲得支援

- 合宿中に参加するほんまもん体験にかかる経費への支援

5 目標

国体開催を契機に積極的なスポーツ合宿誘致活動を展開し、南紀エリアの地域振興を図る。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| (1) 南紀エリアへの県外からのスポーツ合宿者数 | 2.6万人(H25) → 6.2万人(H29) |
| (2) 南紀エリア内の消費額 | 5.2億円(H25) → 12.0億円(H29) |